

## Ⅱ アンケート調査の結果



## 第1章 アンケート調査の概要

### 1 調査方法

郵送配布—郵送回収（督促礼状1回送付）

### 2 調査時期

令和元年10月11日（木）～10月28日（月）

### 3 調査の一覧

調査名		調査対象者		回収率	
		調査対象範囲	調査人数	有効回収数	有効回収率
調査1	調布市民の福祉意識と地域生活に関する調査	市内に居住する18歳以上の市民	2,000人	835	41.8%
調査2	高齢者の生きがいと地域生活に関する調査	65歳以上の市民	2,000人	1,273	63.7%
調査3	障害のある方の地域生活に関する調査（18歳以上）	①身体障害者手帳所持者（64歳以下）	400人	221	55.3%
		②身体障害者手帳所持者（65歳以上）	400人	250	62.5%
		③愛の手帳所持者	300人	172	57.3%
		④精神障害者保健福祉手帳所持者	400人	203	50.8%
		⑤難病患者	300人	173	57.7%
調査4	障害のある方の地域生活に関する調査（18歳未満）	障害者手帳（身体、知的、精神）所持者、難病患者、児童福祉通所受給者証をお持ちの方	200人	115	57.5%
合計			6,000人	3,242	54.0%

## 4 各調査の調査項目

### 【調査1】 調布市民の福祉意識と地域生活に関する調査

大項目	問番号	設問(案)
A 基本属性	問1～3	性別・年齢, 居住地域(付問:お住まいの近くにある公立小学校), 職業
B 住まいや居住の様子	問4	家族構成(付問:一緒に暮らしている人)
	問5	手助けを頼める親族・知人の有無
	問6	居住年数
	問7	住居形態
C 地域生活の状況	問8	近所づきあいの状況(付問:近所づきあいをしていない理由)
	問9	自治会の有無(付問:加入状況, 自治会に加入していない理由)
	問10	地域の暮らしの満足度
D 日ごろの悩みと相談	問11	地域の暮らしの中での不安や課題
	問12	災害時についての不安や心配ごと
	問13	複雑な課題を抱えた世帯の把握状況
	問14	家族以外との会話の状況
	問15	普段の外出状況(付問:外出をしていない期間, 外出をしなくなったきっかけ, 相談の意向)
	問16	経済的な理由で困った経験
	問17	困ったときの身近な相談相手(人・機関)
	問18	手助けしてほしいこと, できること
E 地域活動等の状況	問19	地域活動・ボランティア活動への興味・関心の有無, 取組状況
	問20	地域活動・ボランティア活動への取組意向(付問:取組まない理由)
	問21	地域活動・ボランティア活動に参加しやすい条件
	問22	市の福祉ボランティアの養成講座等の認知度, 参加意向
	問23	身近な拠点の利用状況
	問24	拠点の機能に関する希望
F 住民参加の地域づくり	問25	地域のつながりを感じる程度
	問26	地域のつながりの必要性
G 地域社会に対する考え方	問27	ソーシャル・インクルージョンに関する意識
	問28	地域で福祉サービスの利用に結びついておらず困っている人の有無(付問:具体的な内容<自由回答>)
H 福祉のまちづくり	問29	バリアフリー化の状況
I 調布市の保健福祉施策	問30	保健福祉施策(サービス)に関する情報入手の媒体
	問31	制度や相談窓口の認知度
	問32	今後力を入れるべき保健福祉施策(サービス)
	問33	保健福祉施策(サービス)の充実のために重要だと思う取組
	問34	介護者に必要な支援
	問35	調布市の医療をよりよくするために必要だと思うこと
	問36	市への要望<自由回答>

## 【調査2】 高齢者の生きがいと地域生活に関する調査

大項目	問番号	設問(案)
A 基本属性	問1～5	回答者, 性別・年齢, 生活しているところ, 家族構成, 居住地域(付問:お住まいの近くにある公立小学校)
	問6	介護の有無(付問:主な介護者, 介護が必要になったときに生活したい場所)
B 近所づきあいの状況	問7	近所づきあいの状況(付問:近所づきあいをしていない理由)
C 日ごろの悩みと相談	問8	地域の暮らしの中での不安や課題
	問9	困ったときの身近な相談相手(人・機関)
	問10	普段の外出状況(付問:外出をしていない期間, 外出をしなくなったきっかけ, 相談の意向)
	問11	手助けしてほしいこと, できること
D 地域活動等の状況	問12	地域活動・ボランティア活動への興味・関心の有無, 取組状況
	問13	地域活動・ボランティア活動への取組意向(付問:取り組まない理由)
	問14	地域活動・ボランティア活動に参加しやすい条件
	問15	市の福祉ボランティア養成講座等の認知度, 参加意向
	問16	身近な拠点の利用状況
	問17	拠点の機能に関する希望
E 就労	問18	就労状況
	問19	今後の就労意向(付問:仕事をしたい理由)
F 健康・医療	問20	「高齢者」を意識する年齢
	問21	主観的健康観(付問:健康に不安があることの内容)
	問22	かかりつけ医・歯科医・薬局の有無
	問23	アドバンス・ケア・プランニングや終活ノート等の認知度や活用状況
	問24	終末期に過ごしたい場所(付問:自宅で終末期を過ごすにあたって, 不安なこと)
G 介護予防	問25	参加を希望する健康づくり事業, 事業の形式
H 介護者支援	問26	介護経験の有無(付問:介護の対象者)
	問27	認知症カフェ等介護者の集いの場の認知や参加の意向
	問28	必要な介護者支援策
I 認知症	問29	認知症になった場合の暮らしや備えの状況
	問30	求める認知症施策
J 災害時の対応	問31	災害時の避難が一人で行えるか (付問:災害時の避難の際, 手助けを頼める人の有無)
K 地域社会に対する考え方	問32	地域で福祉サービスの利用に結びついておらず困っている人の有無 (付問:具体的な内容<自由回答>)
L 調布市の高齢者保健福祉施策	問33	調布市の高齢者保健福祉施策の認知状況
	問34	今後力を入れるべき高齢者保健福祉施策(サービス)
	問35	市への要望<自由回答>

【調査3】 障害のある方の地域生活に関する調査（18歳以上）

大項目	問番号	設問(案)
A 基本属性	問1～4	回答者, 性別(年齢), 同居家族, 居住地域(付問:お住まいの近くにある公立小学校)
B 住まいや居住意向	問5	住居形態
	問6	今後の居住の意向
C 障害の状況と日常生活	問7	持っている手帳の種類または診断(付問:身体障害の部位)
	問8	健康や医療について困っていること
	問9	日常生活への支援の有無(付問:支援を受けていない理由)
	問10	手助けできること
	問11	家族以外との会話の状況
	問12	普段の外出状況(付問:現在の状況になった期間, 現在の状況になったきっかけ, 相談の意向)
	問13	主な介護者の続柄・性別・年齢(付問:主な介護者の不安や困りごと)
D 就労等の状況	問14	地域の暮らしの中での不安や課題
	問15	困ったときの身近な相談相手(付問:相談してよかったか, よくなかった理由)
	問16	就労形態(付問:勤務年数, 勤務先への障害・病気のあることの伝達, 障害者就労支援センターの認知状況)
	問17	仕事をするために必要だと思うこと
	問18	今後したい仕事
E 地域のつながり	問19	仕事や通所施設以外での活動の機会の有無
	問20	スポーツ活動・運動をする頻度(付問:スポーツ活動・運動をほとんどしない理由)
	問21	近所づきあいの状況(付問:近所づきあいをしていない理由)
F 災害時の対応	問22	災害時の避難の際, 手助けを頼める人の有無
	問23	防災訓練等の参加経験(付問:参加しない理由)
G 福祉のまちづくり・地域社会に対する考え方	問24	調布のまちは, 障害のある人にとって住みやすいまちと感じるか
	問25	障害者差別解消法の認知度
	問26	障害を理由に差別を受けたり, 偏見を感じることの有無
	問27	してほしい支援や合理的配慮・心に残っている支援や配慮(自由記述)
H 調布市の障害者福祉施策	問28	ヘルプカードの所持について(付問:ヘルプカードの効果)
	問29	市の相談窓口の認知状況
	問30	今後力を入れるべき障害者施策(サービス)
	問31	市への要望<自由回答>

## 【調査4】 障害のある方の地域生活に関する調査（18歳未満）

大項目	問番号	設問(案)
A 基本属性	問1～6	回答者, 本人の性別(年齢), 同居家族(主な介護者の続柄, 主な介護者の性別・年齢, 居住地域, お住まいの近くにある公立小学校, 持っている手帳の種類と等級(付問: 身体障害の部位))
B 障害の状況と日常生活	問7	あて名本人の学齢
	問8	就学前の場合: 日中の過ごし方 就学後の場合: 通学している学校・学級, 学校以外のサービス・施設の利用
	問9	就学後の場合: 放課後活動に求めていること
	問10	保育園・幼稚園, 学校以外での活動の機会の有無
	問11	スポーツ活動・運動をする頻度(付問: スポーツ活動・運動などに参加する機会がない理由)
	問12	保護者が感じている地域の暮らしの中での不安や課題
	問13	困ったときの身近な相談相手
C 将来の意向	問14	健康や医療などで困っていること
	問15	進学意向
	問16	就労意向
	問17	今後の居住形態の意向
D 保護者の状況	問18	就労する上で必要だと思うこと
	問19	保護者の健康状況
	問20	近所づきあいの状況(付問: 近所づきあいをしていない理由)
E 災害時の対応	問21	地域活動・ボランティア活動で, やっている活動
	問22	保護者自身が手助けしてほしいこと, できること
	問23	災害時の避難の際, 手助けを頼める人の有無
F 福祉のまちづくり・地域社会に対する考え方	問24	防災訓練等の参加経験(付問: 参加しない理由)
	問25	調布のまちは, 障害のある人にとって住みやすいまちと感じるか
	問26	障害者差別解消法の認知度
	問27	障害を理由に差別を受けたり, 偏見を感じることの有無
G 調布市の障害者福祉施策	問28	してほしい支援や合理的配慮・心に残っている支援や配慮(自由記述)
	問29	ヘルプカードの所持について(付問: ヘルプカードの効果)
	問30	i-ファイルの認知状況
	問31	市の相談窓口の認知状況
	問32	今後力を入れるべき障害者施策(サービス)
	問33	市への要望<自由回答>

## Ⅱ アンケート調査の結果

### ※共通質問

- 対象者別に比較分析すべき調査項目について、複数の調査間で設定している。
- 以下が今回分析した質問である。

	調査項目名	調査1 市民調査	調査2 高齢者調査	調査3 障害者調査 18歳以上	調査4 障害者調査 18歳未満
地域生活 の状況	近所づきあいの状況 (付問:近所づきあいをしない理由)	問8 問8-1	問7 問7-1	問21 問21-1	問20 問20-1
	今後の居住形態の意向	—	—	問6	問17
日ごろの 悩みと相 談	普段の外出状況 (付問:外出をしていない期間,外出をしなくな ったきっかけ,相談の意向)	問15 問15-1 問15-2 問15-3	問10 問10-1 問10-2 問10-3	問12 問12-1 問12-2 問12-3	—
	手助けしてほしいこと	問18	問11	—	問22
	手助けできること	問18	問11	問10	問22
地域活動 等の状況	地域活動・ボランティア活動への興味・関心 の有無,取組状況	問19	問12	—	(問21)
	地域活動・ボランティア活動への取組意向 (付問:取り組まない理由)	問20 問20-1	問13 問13-1	—	—
	地域活動・ボランティア活動へ参加しやすい 条件	問21	問14	—	—
	市の福祉ボランティアの養成講座等の認知 度,参加意向	問22	問15	—	—
	身近な活動拠点の利用状況	問23	問16	—	—
	身近な活動拠点に求める機能	問24	問17	—	—
災害時の 対応	災害時の避難の際,手助けを頼める人	—	—	問22	問23
	防災訓練等の参加経験 (付問:参加しない理由)	—	—	問23 問23-1	問24 問24-1
地域社会 に対する 考え方, 福祉のま ちづくり	地域で福祉サービスの利用に結びついておら ず困っている人の有無	問28	問32	—	—
	障害を理由に差別を受けたり,偏見を感じるこ との有無	—	—	問26	問27
調布市の 保健福祉 施策	介護者に必要な支援	問34	問28	—	—
	制度や相談窓口の認知度	問31	問33	問29	問31
	ヘルプカードの所持状況(付問:所持の効果)	—	—	問28 問28-1	問29 問29-1

※( )があるものは設問方法や選択肢が異なるため、第6章で調査横断的に分析をしていない。